



島教協

# 《すべては「子どもたちのために」》 情報報

http://  
www.kyougikai.org  
E-mail  
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax:0853(22)7762 代表者 石原康博 編集人 吉田 修

No.628

## 教育専門職にふさわしい給与体系を！

島教協は、県の人事委員会勧告を前に、九月二十九日（水）県人事委員会に対して申し入れを行った。今年度は、人事院から給与・ボーナスともに二年連続の引下げという厳しい勧告が出された。八月十日（火）の人事院勧告の骨子は次の通りである。

- 月例給与、ボーナスともに引下げ ～平均年間給与は△9.4万円（△1.5%）  
（月例給与については、50歳台後半層を重点的に引下げ）
- ① 公務員給与が民間給与を上回るマイナス較差（△0.19%）を解消するため、月例給与の引下げ改定  
55歳を超える職員の俸給・俸給の特別調整額の支給額の一定率減額、俸給表の引下げ改定
- ② 期末・勤勉手当（ボーナス）の引下げ（△0.2月分）

人事委員会からは、平井安夫事務局長、田中郁子企画課長、江角薫給与G Lらが出席、島教協からは石原会長、吉田事務局長が参加した。

申し入れ内容は、人事院勧告を受けての島根県の現状、公務員の労働基本権回復の動きの現状と見通し、年休取得期間の改善（12月締めから8月締めへ）と特別休暇の拡充（子の学校行事への参加も休暇対象へ）である。

平井事務局長からは、県内の民間の状況は回復傾向にあるものの、依然厳しい状況である。それを踏まえ、また一方では特例カットがあるので、これも考慮しながら勧告内容を検討している。公務員の労働基本権については、国の方で現在4つのパターンが出されて検討されている段階である。それぞれ多くの課題があり、すぐに実現・実施にはならないのではないかと。年休や・休暇制度については、取りづらいという意識と環境を改善し、計画的な取得をしてほしい。また、新たな制度を作ることでも大事だが、せつかくある制度を活用することが大事なのでは、と話があった。

島教協としては、厳しい現状ではあるが、少なくとも現状維持の勧告を要望した。労働基本権については、代表制の問題等もある中で、人事院勧告制度の堅持をお願いした。年休・休暇制度についても、教職員の意欲向上策の一つとして重ねて実現を要望した。

県人事委員会勧告は10月中旬に出される予定である。

（労働基本権回復については情報No.629参照）

### できるのか優秀な人材の確保

#### 平成21年度地方公務員給与実態調査

総務省は、「平成21年度地方公務員給与実態調査」の結果を公表した。それによると、地方公務員の給与水準は、平成16年から6年連続で国家公務員を下回っていることが明らかになった。

平成21年度の島根県のラスパイレース指数は93.1、全国高い順で43番目という低さである。これは諸手当にも跳ね返る6%の給与カットの影響である。今年度、県人事委員会から厳しい勧告が出れば、さらに指数が下がるものと思われる。全国との格差は広がる一方である。

この事実は、教職員の働く意欲に大きな影響を与え、優秀な人材の確保の障害にもつながる。その被害を受けるのは子どもたちである。島教協は、「すべては子どもたちのために」の思いで、交渉を進めていく。

#### 〈調査結果の概要〉

- 平均給与月額、国が増加している一方、地方公共団体は減少している。
- 地方公共団体の方が、平均年齢が高いにもかかわらず、平均給与月額は、国を下回る。

#### 「ラスパイレース指数」

ラスパイレース指数とは、地方公共団体の一般行政職の給料額（本給）と国の行政職俸給表（一）の適用職員の俸給額（本給）とを、学歴別、経歴年数別にラスパイレース方式により対比させて比較し、算出したもので、国を100としたものである。

# 島教協結成50周年記念大会 開催のお知らせ

昭和36年10月28日に島教協が誕生し、今年で50年となりました。これまでの歩みを振り返り、島根県の教育正常化を進めてこられた先輩方に敬意を表すると共に、今後の島教協の拡大・発展を図る契機とするために「島教協結成50周年記念大会」を開催します。

ぜひご参加を！

日時 平成22年11月14日（日）13時より受付

場所 ニューウェルシティ出雲 銀河の間

記念講演 講師 関根眞一氏

「教師と保護者とのより良い関係を築く（気づく）ために」



九月二十四日（金）、出雲市教職員協

議会は出雲市内において第二回執行委員会を開催した。今回は、一学期に実施した出教協会員へのアンケートをもとに、十一月に行う予定の対市交渉の要望項目について検討を行った。

## 出教協 第二回執行委員会開催

### 教育シンポジウム佐賀のご案内



昨年度、島根で開催された教育シンポジウム。今年度は佐賀県伊万里市で開催されます。伊万里に集い、熱い議論を交わしましょう。

1 日時 平成22年11月27日（土）～28日（日）

2 場所 伊万里市民センター「文化ホール」

3 テーマ 「日本人の忘れもの」

～伊万里から未来を担う子供たちへ～

今年もコーディネーターは森 隆夫先生（日本教育文化研究所所長）です。日本人として大切にしていきたい伝統・文化について議論します。参加を希望される方は、島教協事務局へご連絡ください。



### 祝！新規加入者

#### 高塚 淳さん（木次小）

いつでも勧誘のお手伝いに伺います。新規採用の方はもちろん、興味をお持ちの未加入の方がいらっしやったら、ぜひ訪問させていただきます。何日の何時頃にとりあえずご連絡をお待ちしております。よろしくお願ひします。

### 全日教連メルマガ 配信中

今年度より全日教連はメルマガの配信を始めました。登録することにより、最新の情報があなたの手元に直接全日教連から届きます。全日教連の活動・日本の教育の流れ・分からなかった教育問題が分かります。



#### 【主な内容】

##### ◇中央情勢報告

忙しい学校現場の先生必見！これで教育の流れが一目瞭然！

##### ◇委員長の部屋から

久保井委員長が、〇〇〇をズバッと斬る！

##### ◇教えて！局長！！

分かりにくい教育制度、教育用語を局長がシンプルに解説！

##### ◇教文研トピックス

全日教連教育新聞、教育創造には書いていないネタが満載！

##### ◇本部事務局ツイッター

あの行事のこぼれ話、要望活動の裏話等、リアルな話題を提供！

全日教連ホームページ (<http://www.ntfj.net/>) から簡単に登録できます。ぜひ登録を！